アジアパイルホールディングス株式会社

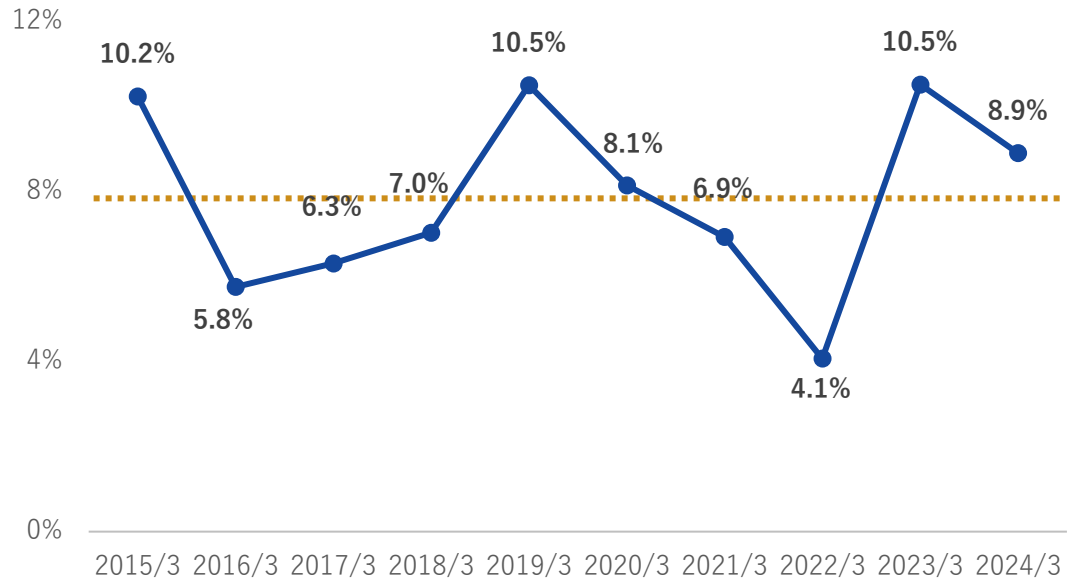
資本コストや株価を意識した経営について

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」現状分析

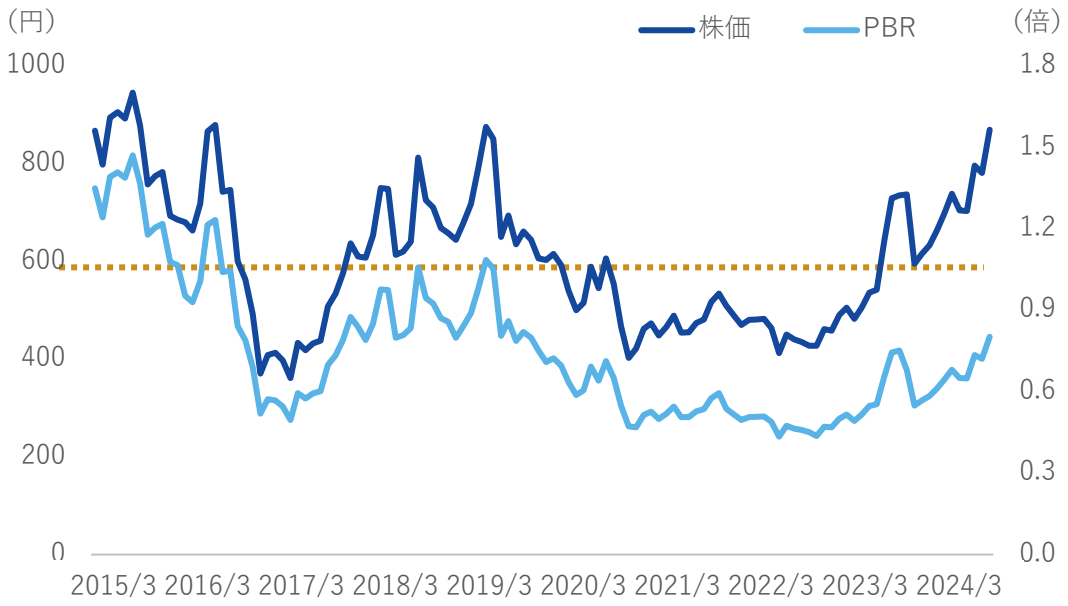
アジアパイルホールディングス株式会社

資本収益性については、ボラティリティが大きく、 PBRは0.80倍程度と１倍割れの状態。
足許では大型工事案件を中心に積極展開してきた新工法「Smart-MAGNUM工法」が市場でも評価され、更に同工法の施工効率向上も進み、収益性は改善傾向にある。今後、さらなる成長戦略の実行と適正なリソース配分により改善を図る。

ROEの推移



株価とPBRの推移



- 当社の2024年３月期のROE **8.9%**
  （前５か年計画期間平均のROE **7.7%**）
- 当社の2024年３月期のPBR **0.80倍**

© ASIA PILE HOLDINGS CORPORATION All Rights Reserved.

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」取組

アジアパイルホールディングス株式会社

新５か年計画の確実な遂行と株主・機関投資家層拡大とコミュニケーション強化により企業価値向上を目指す。

企業価値向上（PBR＞１）

- **ROE向上**
  - 2024.3期：8.9%
  （前５か年計画期間平均：7.7%）
  - **事業戦略の確実な遂行による成長**
    - 事業規模拡大・収益極大化
  - **リソースの適正配分**
    - 積極的な成長投資の継続と株主還元
  - → 新５か年計画の確実な遂行
- **PER改善**
  - 低位で推移
  - **期待成長率向上**
    - 新５か年計画への期待感を醸成
  - **株主資本コスト低減**
    - エクイティスプレッドはプラスを維持
  - → 株主・機関投資家層拡大とコミュニケーション強化

© ASIA PILE HOLDINGS CORPORATION All Rights Reserved.

資源配分

人的資本投資も含め、成長戦略を実現する為の積極的な投資を継続。
同時に、株主還元を重要な経営課題の一つと位置づけ、総還元性向50%を目処に実施する方針。

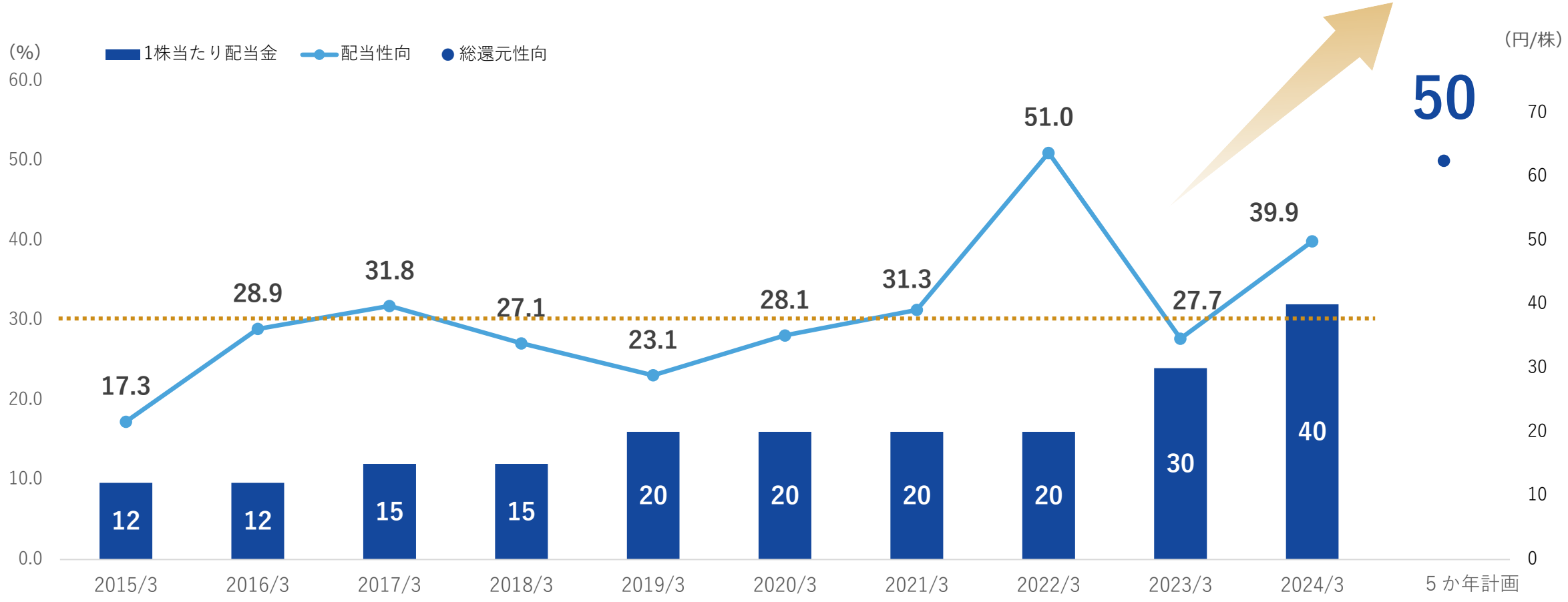
投資 300億円	設備投資	230億円	通常の生産設備等の更新、環境対策等投資も含め、工事の大型化に伴う生産設備（含むヤード）の整備・拡張、施工機材の充実、等が中心
	増加運転資金	40億円	国内施工協力会社宛支払サイト短縮等も含む
	IT投資	5 億円	施工管理ICT化、AI活用等のデジタル化
	人的資本投資	25億円	時間外労働上限規制等も踏まえた処遇改善、教育体制・スキルアップ等の人材確保・育成施策、海外人材活用等
株主還元			安定的な配当方針を前提に総還元性向50%を目処とし、還元は主として普通配当によるが、当社利益状況や自己資本状況を総合的に勘案し特別配当や自己株式取得などの手法も活用

© ASIA PILE HOLDINGS CORPORATION All Rights Reserved.

株主還元（配当性向の推移と株主還元方針）

アジアパイルホールディングス株式会社

安定的な配当方針を前提に、総還元性向 50%を目処とし、株主還元の充実を図る。



© ASIA PILE HOLDINGS CORPORATION All Rights Reserved.

アジアパイルホールディングス株式会社

Building the foundations of Asia

アジアの基礎をきずく。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、環境の変化等により、実際の結果と異なる可能性があることにご留意下さい。

また、本資料の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性については一切保証いたしません。